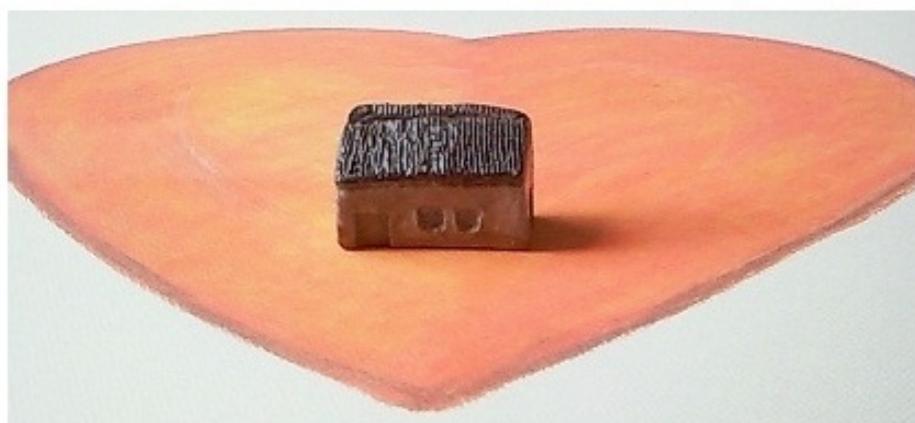


coming home

# 家へ帰ろう

【初版】



葉山ユタ

家へ帰ろう【初版】 目次

P2. インゲの家

P3. ホアンの家

P4. 雅紀の家

P5. クリストファーの家

P6. ヤーティの家

P7. ベッツィーの家

P8. あとがき

P9. 奥付



わたしの名前はインゲ。  
わたしの家は石畳の街にあるの。  
石造りのアパートメントの隣にある一軒家。  
おじいちゃんが建てた小さな家。  
ママは工場で働いていて、わたしが学校から帰っても、いつもいないの。  
でも、今日は早く帰れるって言ってたから、わたしも急いで帰るんだ。  
ほら、ママの赤い車があるわ！  
早く帰ろう！話したいことたくさんあるの。



ぼくはホアン。

ぼくの家は海の近く、砂浜の上にあるんだ。

お父さんとお母さんは、朝早くに漁に行って、お昼には戻ってる。

学校から帰ったら、弟や友達と海に潜って遊ぶんだ。

今日はみんなで、きれいなウミウシを探しに行くって約束をした。

弟の手を引っ張って、走って帰るよ。



ぼくは雅紀。

ぼくの家は、町のはずれにある小さな一軒家だ。  
古い小さな家で、家のまわりには大きなポプラや桜があるよ。  
父さんと母さんは、緑に囲まれた場所で暮らしたかったんだって。

今は桜が満開で、とってもきれいなんだ。  
今日はみんなでお花見するから、早く帰らなきゃ。



ぼくはクリストファー。

ママと二人で古いアパートの二階に住んでいる。

ママはアーティストだから、家の中はすごく変わってて面白いんだ。

ぼくにも大人になったらクリエイティブな仕事をしろって言う。

でも、ぼくは弁護士になりたいんだよね。

今日の夜、家でパーティをやるんだって。

気が乗らないけど、早く帰ってお手伝いしなきゃ。



わたしはヤーティ。

わたしの家は乾いた灰色の土地にポツンと建ってる。  
遠く旅してきた人たちが泊まれるように、いつも一部屋空けてあるの。

今日は父さんに頼まれて、町までお酒を買いに行った。  
町には何でもあるし、見てて飽きないけど、早く帰らなきゃ。

あんまり暗くなると、一人で帰るの怖いから。



私はベッツィー。

私の家は湖のほとり、森の近くに建っている。

冬は雪が多くて大変だけど、春になると、それはそれはきれいな所よ。

春が来て、暖炉を使わなくなったら、すぐに鳥が煙突に巣をかけたわ。

パパもママも私も、鳥が大好きだから、そのままにしてるの。

そろそろヒナが産まれる頃だから、私、すぐに帰らなきゃ。

お読み頂きありがとうございます。

この作品は、自作の陶器で作った家に、背景と文章をつけて  
色々な国の子ども達が家に帰る様子を表現した写真絵本です。

初版は無料公開ですが、今後家の物件が増えていく予定でして

【[二版](#)】目は有料公開とさせて頂いております。

よろしくお付き合い下さい。



文、背景画、陶器制作：葉山ユタ

家へ帰ろう【初版】

2011年2月23日

Copyright Y u t a H a y a m a All Rights Reserved

## 家へ帰ろう【初版】

<http://p.booklog.jp/book/21200>

この作品は、自作の陶器で作ったミニチュアの家、背景と文章をつけて  
色々な国の子ども達が家に帰る様子を表現した写真絵本です。

尚、この電子書籍に使用されている陶器の家の一部を  
石狩市にあるギャラリーにて展示販売しています。

詳細は[こちら](#)。

## [家へ帰ろう【二版】（有料版）](#)

陶器の家が30軒掲載された完全版です。

著者：葉山ユタ

葉山ユタ ブログ：[「白嘘物語-つくもうそ物語」](#)

日常から非日常まで。掌編～長編小説を連載中です。

ツイッター：[ユタ](#)

google+[葉山ユタ](#)

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/21200>

Copyright Y u t a H a y a m a All Rights Reserved